



パーティ

64

いせ市民活動センター

伊勢市岩淵1丁目2番29号
TEL0596-20-4385
FAX0596-20-4386
Eメール/skc@e-ise.net
URL/https://skc.e-ise.net

■いせ市民活動センター通信は、伊勢市、またその周辺の市民活動を広くお伝えする広報誌です。

～感謝 そして、新しい出発に向けて～

いせ市民活動センター センター長
西川 恒夫 (にしかわ つねお)



また、新しい年を迎えました。冬至の頃に比べると日も少しずつ長くなり、梅の開花だよりも届きはじめています。『梅白し まことに白く 新しく』自然の豊かさや美しさを素直に見つめ客観的な描写による俳句を数多く詠んだ高浜虚子の次女で女性俳人の星野立子の句です。今年も白梅が咲いている。毎年同じだけれど、新しい気持ちで見ればまた新鮮に感じることができます。ものの見方や考え方を少し変えてみるだけで新たな発見や発想が生まれる。豊かな人生を送るために、いくつになってもこんな学びや謙虚さを大切にしていきたいものですね。

立春が過ぎたとはいえ、体感的にはまだまだ寒い日が続きます。『春は名のみ 風の寒さや 谷のうぐいす歌は思えど 時にあらずと声もたてず 時にあらずと声もたてず…』

(「早春賦」より)

といったところですが。皆さまには健康の保持に十分ご留意ください。

さて、ご承知のように令和7年7月より始まった、当センター改修工事および北館2階の伊勢市歴史博物館の整備に伴い、施設の利用を休止いたしました。皆さまにはご不便ご迷惑をおかけしましたが、いせ市民活動センター事業に変わらぬご理解ご協力いただきありがとうございました。

令和7年度、当センターでは、活動場所提供事業は休止しましたが、市民活動支援のための日常的な相談事業の実施、情報誌「パーティ」の62、63号の発行や行政チャンネルでの放映などの広報事業、パソコン・スマホ講習会の定期的な開催などを行いました。7月にはつながりプロジェクト募金事業としてのダンスワールドinいせ、8月にはコーヒー募金を活用した、リモートによる登録団体交流会、この交流会では、新たな日常に即した各団体活動についての発表を通じて成果や課題を共有し交流を深めることができました。

そして9月の防災講座では、伊勢市防災マネージャーの阿部雅寿さんから「伊勢市の防災リスク」と題して、身近に起こり得る災害と備えについてお話しいただきました。参加された方は、熱心に聴き入り、日ごろの備えや災害時の連携の大切さを自分たちの課題として再認識されたようでした。

そして11月にはメインテーマを「考えよう 気候変動」、サブテーマに「生活の中での「脱炭素」」と、題した、「第14回いせ市民活動フェスティバル」を開催しました。

当日は、あいにくの雨でしたが、当センターで繋がる市民活動団体や学生ボランティアが一堂に会し、SDGsを意識した日頃の活動成果を交流しました。来場された市民の皆さまも、各団体の説明を興味深げに聴き入っていました。同時に、舞台発表では鮮やかな衣装をまとった各表現団体による息の合った素晴らしいダンスや演奏などに、うっとりしながら見入っておられました。おかげさまで、熱気あふれるフェスティバルになったことを関係者一同、心より感謝しております。

12月にはチャリティーライブも開催しました。

新年度も引き続き、皆さまの声を耳を傾けて事業を推進して参りますので、たくさんのご意見ご要望をお寄せください。そして、市民活動に積極的に取り組んでいる皆さまと共に、センターとしての役割を担いながら、元気で優しい伊勢の町づくりに、新たな気持ちで努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



第14回いせ市民活動フェスティバル会場の様子

報告

11月9日(日)

第14回

「いせ市民活動フェスティバル」を開催しました!

◆テーマ 考えよう「気候変動」
—生活の中での「脱炭素」—



第14回いせ市民活動フェスティバルは「ハートプラザみその」にて開催。初めての会場で、準備も当日準備で、不安と成功させようの意気込みを共有しながらの開催になりました。天気は雨、交通機関もバスに限られておりイベント開催には厳しい条件でしたが予想外にお客様はお越しくださいました。少なくなったり、賑わいだり、その波の繰り返してました。

団体展示ブースには日頃の取組が展示され、会員の皆さんによる団体の活動資金調達のためのバザー用品もたくさんありました。団体の長机の前には今回のテーマである「脱炭素の取組」が掲示されていました。来られた方もご自分の取組を記入する等、会場全体で「気候変動」を考えました。

舞台発表は展示ブースと同じ場所で発表をしました。会場の皆様がにこやかで惜しみない拍手をおくったりするなど、会場全体に一体感がありました。最後に、舞台上で「伊勢音頭」の総踊りをしました。高校生や大学生が積極的に参加し、堂々と踊りあげました。世代を超えた交流と伝統文化の継承を実感できる一日となりました。色々ありましたが楽しく市民活動を発信できたとおもいます。

フェスティバル開催にあたり、ご支援、ご協力くださいました皆様、ありがとうございました。当日、実行委員会と共に運営をしてきました皇學館大学レクリエーション部の皆様、お世話になりました。皆様、感謝いたしております。

報告

7月11日(土)

ダンスワールドin伊勢

いせ市民活動センターつながりプロジェクト、災害復興支援の募金活動「ダンスワールドin伊勢」。今回はいせトピアで開催しました。

舞台発表で伊勢市のまちの活性化を目的としている12のダンス団体の皆さんが参加し、募金を呼びかけました。出演団体の皆様は広い舞台上、自分達のダンス、フラダンス、ヒップホップ、日本舞踊、レクダンス、カントリーダンス等を15分間という枠の中で、日頃の練習の成果を、堂々と披露されました。若い世代の皆さんや大人(会員のほとんどが高齢者、後期高齢者の方だそうです)の皆さんのエネルギッシュなダンスに会場の皆さんの応援にも力が入っていました。司会進行は皇學館高校ダンス部の皆さんに協力していただきました。舞台照明や音響関係はいせトピアの舞台ボランティアの皆様がお力を貸してくださいました。みんなで力を合わせての募金活動になりました。今回の募金額は**27,474円**でした。災害復興支援関連に利用させていただきます。





フェスティバル参加団体より感想のメールをいただきました

●雨天にもかかわらずいろんな人と交流ができてとても有意義でした。おかげさまでバザーの売り上げもたくさんありました。個人的には断捨離中なのに、たまもや「かわいいもの」を見つけては我慢できずお迎えしてしまいました。会場では昔一緒に活動していた人たちとゆっくりお話ができました。緑と海の合唱団の『青い空は』は高校生の時に歌っていて、未だにハモれて嬉しかったです。50年以上前の歌です。充実した日でした。皇學館大学の学生さんたちが、撤収の時など若い力を発揮していただき一致団結。気持ちよかったです。運営委員の皆様、ありがとうございました。



報告

8月3日(土)

登録団体交流会報告

今回のZOOMによる今回の交流会には、立ち上げて数か月から活動歴10年未満、25年以上の団体まで、合わせて6団体が参加しました。各団体は、パワーポイントや口頭で活動紹介を行い、発足のきっかけや日頃の取り組みについて発表しました。

趣味の延長から社会貢献へとつながった団体、地域の課題に気づき立ち上げられた団体など、それぞれが抱える課題にも触れることができました。

立ち上げたばかりの団体からは「活動資金の確保」について質問が出されました。講師料から経費を引き残額を活動費に充てている団体、会費と材料費でやりくりしている団体など、どの団体でも資金面で苦労していることや、工夫が必要であることをあらたに共有しました。終了後、質問をされた団体から、「なかなか10年も30年も続けていくのはとても大変なことだと思います。人の関わり、お金のことまだ始まって3ヶ月足らずですが、今まで経験したことがない事や、会ったことがないような考え方の、びっくりするような事がたくさんです。本当に尊敬します」との感想メールがありました。

どの参加団体も問題や課題を抱えていますが、それぞれの目的達成に向けて前向きに取り組んでおり、お互いの活動を知ることによって刺激や学びのある機会となったことと思います。参加された皆様、ありがとうございました、お疲れ様でした。



報告

9月28日(土)

IT講習

今年度は7月から10月にかけて、全4回のパソコン講習を実施（「パソコン講習」と言っていますが、最近では内容も広がり「IT講習」がしっくりきています）。できるだけ丁寧に分かるまで学んでもらいたいため定員は8名としました。ご参加いただいた皆さんには楽しみながら理解していただけただけなのではないかと思えます。

講習では、ChatGPT（2回）、CANVA、Googleフォトを取り上げ、団体活動の中で実際に使い、少しでも作業が楽になることを目標に進めました。

初めて触れる方がほとんどでしたが、「活動に使える」「やってみたい」といった声をいただくことができました。令和8年度も、団体活動に役立つITツールを探しながら、引き続き講習を行っていきたくと考えています。



報告

12月20日(土)

チャリティーコンサート ミュージックコミュニケーション

今回の会場は、伊勢商工会議所5階ホール。なんと、ライブハウスみたいで、会場の雰囲気今回のコンサートにピッタリ。初めてのお客様が「えーやんか！えーやんか！」といいながら会場に入ってくられました。

今回の出演は4組のミュージシャングループ。ポップスやフォークを披露しました。歌も演奏もトークも含めて全てが素晴らしかったです。どのグループも楽しそうで、観客の皆さんにも伝わっていたと思います。年末でお忙しい折、心の癒しにつながったのではないのでしょうか。



「チャリティーコンサートミュージックコミュニケーション」は地元のアーティストの皆さまのお力をお借りして開催しています。今回の募金は**12,425円**となりました。アーティストの皆様、いつもコンサートにご来場いただいている皆様、チャリティへのご協力ありがとうございます。

コーヒーもたくさん飲んでいただきました。こちらの収益の一部は市民活動支援に利用させていただきます。





登録団体情報

■ 会員募集 ● 活動紹介

● イベント情報

内容の変更、延期または中止になる場合があります。
詳細は、各催しの問い合わせ先にご確認ください。

NPO三重音楽療法地域推進協会

● 「ライブスペース勢の！」

障がいのあるなし関係無いコンサートです。観るのも聴くのも出演するのも無料！毎月開催今年1月で190回になります。

- 開催日 毎月第3日曜日 16:00~17:00
 - 場 所 村井楽器2階ホール (伊勢市御園町長屋2175)
 - 入場料 無料
- 問/TEL0596-23-1125
NPO三重音楽療法地域推進協会(村井楽器本社内)

スマイルレク

● 天野先生をお迎えしてみんなで踊ろう

新緑がまぶしい季節にレクダンス界の貴公子！天野先生にお越しいただいてのダンスタイム。みんなで楽しいひと時を過ごしましょう！！

- 講 師 天野 勤先生 (埼玉在住 (公社) 日本フォークダンス連盟 元レクダンス委員 / 現在 埼玉県レクダンス連盟 会長 全国レクダンス指導者連絡協議会会長)
 - 開催日時 5月16日 (土) 13:15~15:15
 - 場 所 いせトピア 多目的ホール
 - 参加費 1,000円 (資料、傷害保険料含む)
 - 申込締切日 4月25日 (土)
- 問/TEL・FAX 0596-36-0081 森
TEL・FAX 0596-28-7023 真崎
ホームページ 「スマイルレク」検索

■ NPO三重音楽療法地域推進協会

私たちはミュージックノーマリゼーションを(弱者目線で社会を再構築する考えを音楽で実践) スローガンに音楽療法の普及に努める団体です。音楽療法にご興味ある方、音楽療法の普及にご協力いただけませんか。定期的に普及イベント開催しています。

- ◆ 毎月第3日曜日 16:00~17:00
- 「ライブスペース勢の！」開催中
- 場 所: 村井楽器伊勢店2階ホール
- 問/TEL0596-23-1125

NPO三重音楽療法地域推進協会(村井楽器本社内)

■ スマイルレク

体づくり仲間づくり、と一緒に体を動かしませんか。レクダンスとは指導者の簡単な説明で誰もが楽しく踊れるダンスです。体操やストレッチも取り入れています。教室の場所時間等は「スマイルレク」のホームページをご覧ください。

- 問/TEL・FAX 0596-36-0081 森
- TEL・FAX 0596-28-7023 真崎



■ 会員募集

■ ふくしまいせしまの会

水害・土砂崩れ・Jアラート・原発による影響・渡会橋の安全性など、伊勢市の防災に興味のある方、一緒に活動しませんか。今年度の活動計画は新しくなられた市会議員の方々に、防災についていろいろ聞いてみたいと思います。

- 問/TEL090-7672-9941 (上野)
- ふくしまいせしまの会

■ 三重マジッククラブ

楽しいマジックで毎日を有意義に…マジックは指先と頭を使うので、認知症などの防止にはもってこいです。

- 定期的な活動
 - ①初めてのマジック教室
 - ・日時 毎月第3土曜日 13:00~15:00 ・定員 15名
 - ②初めての南京玉すだれ教室
 - ・日時 毎月第4水曜日 18:00~19:00 ・定員 10名
 - ③初めてののこぎり音楽教室
 - ・日時 毎月第4水曜日 19:00~20:00 ・定員 10名
 - ※場所①②③とも 伊勢市生涯学習センターいせトピア
 - 参加費 無料 ● 申込み 電話にてお願いします。
 - 期日 開催日の前日まで
- 問/TEL090-2574-6733 三重マジッククラブ 大形

■ なかよしこどもクッキング

心と体の健康を目的としてたいせつな発育期のお子様の健康の増進を心がけ、実行しています。パスタ、野菜パン、クッキーなど多彩なメニューを用意しています。お子様の好奇心を引き出します。

- 日 時 毎月1回、日曜日13時~16時
- 場 所 いせトピア調理室
- 問/TEL090-4447-6831 平塚

■ 楽しい大人のクッキング

豊富なメニューを目的として、時短、節約、おいしくなる新常識を学びます。

- 健康な食事、そして地元の食材を使って健康に配慮した料理を作ります。
- いつも食べる定番ヘルシーフードを目指しています。
- 日 時 毎月第3火曜日 13:00~15:00
- 場 所 コープみえ伊勢センター調理室
- 問/TEL090-4447-6831 平塚



伊勢リサイクルプラザ

●第45回環境学習会参加者募集 「目指せ!ゼロエミッション」

- ・ごみの歴史・循環型社会とは
- ・生活ごみの流れ・中部リサイクル株式会社の取り組み

講師 中部リサイクル(株) 担当者

開催日 3月7日(土) 13:30~15:00

伊勢リサイクルプラザ(伊勢市西豊浜町653)

問/TEL・FAX 0596-38-2800 伊勢広域環境組合リサイクルプラザ

●もったいない教室参加者募集

伊勢リサイクルプラザでは、ごみ減量の啓発活動を目的としたリサイクル教室を開催しています。

開催時間 午前10時~終了時間は教室によって異なります

参加対象者 伊勢市、明和町、玉城町、度会町に

在住または通勤する方

参加費 各教室200円

(段ボールコンポスト作り は無料・EMぼかし作りは受講回数による)

申込方法 開催日の1カ月前から電話にて受付

(平日9:30~15:30 土日祝は受付不可) 詳細は申込み時に。

問/TEL・FAX 0596-38-2800 伊勢リサイクルプラザ

■伊勢リサイクルプラザ

平成18年に「もったいない宣言」をし、地域住民参加型の教室や出前講座を通して、3Rや環境問題について考えています。

日々の生活を少し見直し、一緒にごみ減量の啓発活動をしてみませんか。

主な活動内容 もったいないフェア、環境学習会、もったいない教室、出前講座、リユース品の販売、機関紙「リサちゃん通信」の発行

●もったいない教室

受講日	教室名	定員
4月11日(土)	EMぼかし作り	15名
4月12日(日)	帯で兜飾り作り	7名
4月18日(土)	牛乳パックでペン立て作り	5名
4月19日(日)	ペットボトルで万華鏡作り	7名
4月25日(土)	ししゅう糸で刺し子風キッチンクロス	16名
5月9日(土)	EMぼかし作り	15名
5月10日(日)	リユース服で保冷バッグ作り	7名
5月16日(土)	段ボールコンポスト作り	10名
5月17日(日)	布で作るチューリップ	16名
5月24日(日)	ハギシでブローチ作り	7名
5月30日(土)	EM石けん作り	7名
6月6日(土)	お薬手帳ケース作り	7名
6月13日(土)	EMぼかし作り	15名
6月20日(土)	布でフォトフレーム作り	7名
6月21日(土)	牛乳パックで椅子作り	5名
6月28日(日)	新聞紙でちぎり絵作り	7名

センター事業

報告

9月20日(土)

防災講演会 「伊勢市の災害リスク」

毎年9月の「防災の日」に合わせ、防災意識向上を目的に講座を開催しています。今回は「伊勢市の災害リスク」をテーマに、伊勢市危機管理課防災マネージャーの阿部雅寿さんに講演をしていただきました。

地質地図や雨量データ、過去の災害事例などを基に、風水害や地震、津波についてイラストや写真を用いて分かりやすく解説。伊勢市は自然豊かな地域である一方、河川が多く、これまでも台風や大雨による浸水被害や地震を経験しました。こうした背景から、いつ発生してもおかしくない南海トラフ地震に備え、行政やまちづくり協議会が頻繁に避難訓練や講習を行っています。

講演を通じ、伊勢市の多様な災害リスクと個人一人ひとりの防災意識の重要性を強く認識しました。ハザードマップの確認や感震ブレイカー設置、家具固定など、日頃からの備えの大切さをも学ぶ機会となりました。会場に足を運んでいただいた方は「まちづくり協議会」からの参加が多く、地域防災の取組の熱心さをうかがうことが出来ました。

「災害の備え」や「伊勢市の災害の取組」は伊勢市のホームページでご覧になれます。具体的なことが掲載されていますので、ご家族とご一緒にご覧いただき、災害についてお話しされてはいかがでしょうか。「早期避難に勝る対策はない」、肝に銘じたいものです!

■「伊勢市の災害リスク」について(参加者アンケートの声)

- 空き家が増えており災害発生時に倒壊し、付近に影響を及ぼす恐れがあると考えています。
- 私の地区で言えば高台のため津波・洪水リスクは少ない。ただし地震による家屋倒壊や、土石災害リスクはある。線状降水帯発生によるリスクは不明?
- 豪雨災害、特に自宅周辺の県道17号線は少しの雨でも長時間になると冠水するため、月読宮の堀の土砂を撤去して貯水場を作してほしい
- 南海トラフの最大レベルの震度があった場合には、対応の取りようがない→震災後の対策が大きな課題

- 指定避難所と津波緊急避難所の利用法について。
- 防潮堤(堤防)の効果は?
- 伊勢市は特に南海トラフの災害が大きいと思われる。対策を十分して自分の命は自分で守るように、ふだんから意識して準備しておく必要を感じている。
- 伊勢平野の為水害に重点を置きたい
- 予想もつかない災害が多くなっている気がする。災害にあってはじめて考えることが多いと思う。一人一人にリスクの声が届く広報をしてほしい



いせ市民活動センター 利用再開についてのお知らせ

事務所再開日及び貸館の予約受付開始日・利用再開日

令和7年度7月から実施しております「いせ市民活動センター」改修工事へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。いよいよ工事が終了し、市民活動センターの利用を再開いたします。

北館は2階に歴史博物館が整備され、貸館は1階のみとなります。いせ市民活動センターの事務所再開日及び今後の貸館の予約等については以下をご参照ください。

今後のスケジュール

事務所に 移転について	いせトピアでの仮事務所 (2階れいんぼうルーム) 休館日 水曜日/毎月第1,3(及び第5)月曜日	令和8年3月10日まで
	移転準備に伴う事務所業務の休止 期間(予約受付休止期間)	令和8年3月11日から 3月25日まで
	いせ市民活動センター 事務所再開日	令和8年3月26日
貸館 について	予約受付開始日	南館 令和8年3月1日 北館 令和8年4月2日
	利用再開日	南館 令和8年4月2日 北館 令和8年4月25日

※3月26日から3月31日のいせ市民活動センターでの事務所開設時間は9:00から18:00までとします。
問/いせ市民活動センター TEL 0596-20-4385

ただし事務所業務の休止期間中(3/11~3/25)は、窓口・電話での対応ができませんのでご了承ください。

→市民活動センターの利用ガイド 関連記事5ページ参照

ご相談ください

いせ若者就業サポートステーション

改修工事のため、一時移転中 伊勢市駅前浦田ビルにて開設中

サポートステーションは職業斡せんではなく、働きたいけど働けない若者や、大人になっても働いていない子供を持った親の相談を受けて、職業的自立に向けてサポートする事業です。

今年度は、いせ市民活動センター改修工事のため一時移転しています。

移転場所 伊勢市本町5-3 浦田ビル2階

いせ若者就業サポートステーション

- 開設日
日曜・祝日・水曜をのぞく週5日
- 時間 朝9時~夜5時まで
- 利用対象者 学校卒業もしくは中途退学
又は離職後、一定期間無業の状態にある
49歳までの若者と、その保護者。
- 受入 キャリアカウンセリング(要予約)

TEL 0596-63-6603

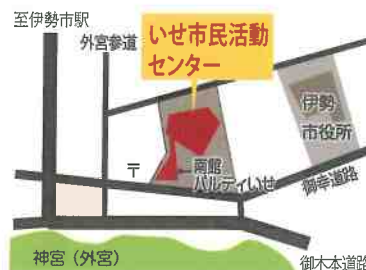
運営主体/厚生労働省からの委託事業として
NPO法人いせコンビニネットが運営しています

いせ市民活動センター



伊勢市岩渕1丁目2番29号
TEL 0596-20-4385
FAX 0596-20-4386
Email: skc@e-ise.net

<https://skc.e-ise.net>



- 休館日
毎週水曜日
(その日が祝日に当たるときは、
翌日以後の休日でない日)
12月29日~1月3日
- 開館時間
午前9時
~午後10時